

南押原コミュニティセンターが 生まれ変わりました！

南押原コミュニティセンター ☎(63)8346
文化課文化振興係 ☎(65)6741



昨年10月から工事を進めてきた南押原コミュニティセンターの新たな建物がこのたび完成し、10月26日に供用を開始しました。

建築面積は672.42平方メートル、地元産の木材をふんだんに使用した木造平屋建てで、大会議室・小会議室（大会議室と一体利用可）・中会議室・和室・調理室（調理台4台）・事務室を備えています。さらに地元ゆかりの児童文学作家である千葉県三の記念館を併設し、展示室・図書室・学習室などを設け、学習機能も充実した施設となっています。

新しい地域のシンボル施設は、今まで以上に人々が気軽に交流できる地域のコミュニティ活動の拠点として、大きな期待が持たれています。

※一部の外構工事は今後も実施しますので、ご協力をお願いします。

施設使用料

区 分	使用料 (1時間につき)
小会議室	150円
中会議室	200円
大会議室	450円
和 室	150円
調 理 室	250円



千葉県三記念館

開館時間 平日 午前 9時～午後5時
土・日・祝日 午前10時～午後4時
休館日 年末年始（12月28日～1月4日）
入館料 無料

～リニューアルした千葉県三記念館～

千葉県三は楡木で少年時代から青年期を過ごし、上京して児童文学作家として活躍しました。大正から昭和初期にかけて、郷土の子どもたちの姿をいきいきと描いた作品を発表しました。

千葉県三記念館は、平成5年に遺族から寄贈された遺品や原稿などを収蔵展示するために楡木町に開館しましたが、このほど南押原コミュニティセンター内に新築移転しました。

「玉琢がざれば器を成さず」という格言があります。このすばらしい建物にさらに重み加わるには、使用する私たちの「地域おこしの拠点」としての思いを深めていくことが不可欠になってきます。そのため、地元の皆様一人一人が、目的達成のために一致団結をしていく「結いの精神」を忘れてはならないと思います。

地元の人たちが「これから発展する南押原の姿を思い描くことができ、期待に胸がふくらむ」と口を揃えて話すのを聞くと、感謝の気持ちでいっぱいになります。



南押原地区自治会連絡協議会
鈴木 節也 会長

待ち望んだコミセンに感謝